

各 位

会 社 名 ヒメジ理化株式会社
(コード番号 322A TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 赤 錆 充
問 合 せ 先 専務取締役 管理本部長 大 槻 真
T E L 079-336-3221
U R L <https://www.himejirika.co.jp/>

2025 年 12 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績及び市況動向を踏まえ、2025 年 2 月 14 日に公表いたしました 2025 年 12 月期の連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025 年 12 月期の連結業績予想数値の修正 (2025 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日)

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1 株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	18,839	1,574	1,322	1,376	173.63
今回修正予想	15,007	△149	△539	△154	△19.52
増減額(B-A)	△3,832	△1,723	△1,861	△1,530	
増減率(%)	△20.3	－	－	－	
(ご参考) 前期実績 2024 年 12 月期	16,973	1,303	998	536	

2. 修正の理由

当社を取り巻く事業環境として、2025 年上期の半導体市場は、用途によって回復の度合いに差が見られました。

生成 AI やデータセンター向けは、先端ロジックや高性能メモリの需要が堅調に推移し、一部では継続的な投資も見られました。しかし、これらの用途は単価こそ高額であるものの、出荷数量が限られるため、当社の売上への直接的な影響は限定的です。

一方で、車載向けや民生機器向けなど、比較的多くの半導体が製造される量産用途では、依然として在庫調整や設備投資の抑制が続いており、こうした分野の低迷が当社の売上に大きく影響しました。

このように、数量ベースでの需要が本格的に回復していない中、当社にとっては半導体市場全体の回復はなお途上にあり、売上高は期初の計画を大幅に下回る見通しとなりました。

さらに、営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する当期純損益につきましても、売上減少の影響に加え、業界全体における需給バランスの変化による販売価格の下落、加えて量産製品の受注減少を少量多品種製品で補う動きとなったことによる生産性の低下も懸念されており、いずれの指標においても従来予想を大幅に下回る見込みです。

こうした状況を踏まえ、2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期の連結業績予想について、売上高および各段階利益の見通しを下方修正することといたしました。

以 上